

初めてパパも、ベテランパパも集合〜♪

第1回 パパズタイム

「こどもと関わりたいけど、何をしたらよいのか…」 「パパ友がほしい！」
こんな思いをお持ちのパパたち、お待ちせしました。先輩パパによる
絵本ライブを開催します。パパとお子さんで、楽しいひと時を過ごし
ましょう。

3月8日(日) 9:30 ~ 11:30

- ▶会場 藤久保公民館 ホール
- ▶内容 ・保健師・看護師による育児計測・相談
・パパ's 絵本プロジェクトメンバー (NPO 法人ファザーリング・ジャパン) による絵本ライブ
- ▶対象 0 ~ 3 歳程度の子とパパ ▶定員 20 組
- ▶持ち物 母子健康手帳、おむつ他お子さんに必要なもの
- ▶申込方法 3/6(金)までに電話・FAX・メール・健康増進課健康支援担当窓口にて、件名を「パパズタイム申込み」とし、「①パパとお子さんの名前②住所③電話番号」を伝えて申し込み。

参加無料



【パパ's 絵本プロジェクト】

2003年5月、仕事で知り合った育児中の安藤哲也氏、田中尚人氏、西村直人氏が、お互いの育児の苦労談や、子どもに読んできた絵本の話で盛り上がり、「なんかやろうか!」とスタートさせた「パパ's 絵本プロジェクト」。以後15年間日本全国で活動を展開し、各地で影響を受けた「絵本を読むパパチーム」が続々と誕生している。

下記のイベント会場は
①②…中央図書館、③…藤久保公民館
申込みは中央図書館にて受付 (先着順・電話可)。すべて無料。

① 文学作品を朗読で楽しむ会

3月7日(土) 14:00 ~ 15:30 (受付 13:40 ~)
▶朗読 寺田道雄氏 (元 NHK アナウンサー)、七月の朗読会
▶内容 「小さき者へ」有島武郎著ほか ▶対象・定員 中学生以上 40 人

② 大人のための落語に親しむ会

3月15日(日) 14:00 ~ 16:00 (受付 13:40 ~)
▶断家 三教亭南教 ▶内容 古典落語「夢金」ほか
▶対象・定員 中学生以上 50 人

③ 東上線にのってももんちゃんが出てきた - 絵本と紙芝居の実演を通して作品を語る -

3月22日(日) 13:30 ~ 15:00 (受付 13:00 ~)
▶講師 絵本作家 とよたかずひこ氏
▶内容 読み聞かせと作品の誕生秘話など
▶対象・定員 150 人 (未就学児は保護者同伴)



会員募集

令和2年度としょかん・くらぶ (小学生) 会員募集開始

- ▶開催日 第4土曜日 (5、7、12月を除く)
第1回目は、4月25日(出)
- ▶時間・対象 10:10 ~ 11:00 (新1・2年生) 定員 40 人
11:10 ~ 12:00 (新3 ~ 6年生) 定員 55 人
- ▶内容 読み聞かせとブックトークで本に親しみ、読む力を育みます。
- ▶申込み 3月28日(土)12:00より図書館で受付。電話では仮受付。

無料

はじめての離乳食 (離乳食教室)

3月23日(月) 会場:保健センター2階調理室 (中央図書館前 藤久保 7232-1)
9:30 ~ 12:00

赤ちゃんにあげるはじめてのごはん。「何からあげればいいのかわからない」「はじめ方がわからない」そんな不安や疑問に答える講座です。実際に簡単な調理実習も行います。一緒に作ってみませんか?

- ▶対象 第1子 (生後4 ~ 5 か月の子と保護者)
- ▶定員 12 組 ▶料金 無料
- ▶持ち物 ①エプロン・②三角巾 (バンダナ可)・③バスタオル
- ▶申込方法 電話・FAX・メールで件名を「離乳食教室申込み」とし、「①母の名前②住所③電話番号④子の子の名前⑤子の生年月日」を記入し申し込み。

※保育はありませんが、お子さんと一緒に参加できます。

保健センターの年間事業が分かる!

事業一覧を広報みよし次号に折りこみ

がん検診や健康診断など大切な情報を掲載

毎年全戸配布している「がん検診・乳幼児健診年間予定表」の令和2年度版を来月配布の広報みよし4月号に折り込みます。各がん検診・ママのための健康診断の申込方法も掲載していますので、大切に自宅に保管し、一年間活用してください。

▶ 昨年配布した事業一覧。新しいものをお届けします。



休日・夜間・小児時間外診療所

施設名	休日急患診療所	小児時間外救急診療所	イムス富士見総合病院 (入院等が必要な救急小児)
所在地	ふじみ野市駒林元町 3-1-20	ふじみ野市駒林元町 3-1-20	富士見市鶴馬 1967-1
電話番号	049-264-9592	049-264-9592	049-251-3060
診療日	日曜・祝日・年末年始	月~土曜	月・木曜
診療時間	9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 16:00 20:00 ~ 22:00	20:00 ~ 22:00	月・木曜が平日 18:00 ~ 翌朝 8:00 まで 月・木曜が祝日 8:00 ~ 翌朝 8:00 まで

みよし 歴史 探訪

文化財保護課 ☎ 258-16655

三芳誕生130年「三芳村」命名

三芳誕生130年、三芳村命名。紆余曲折の末、明治21年(一八八八)10月20日、藤久保村連合戸長は、独立町村編制諮問の結果を埼玉県知事宛に上申した。翌22年(一八八九)2月に県知事から内務大臣に合併案が上申され、合併案は異議なく了承された。これにより、同年4月1日、竹間沢村・藤久保村・北永井村・上富村の四か村を合併した「三芳村」が誕生した。

合併時の三芳村の戸数及び人口は、444戸・2,829名。役場は、藤久保の広源寺本堂を仮役場として業務が始まった。4月1日に町村制が実施されたものの、合併からは2~3カ月間は従来の体制が運用されていた。町村制のもとでは、村長は村会議員によって選任され、初代村長は池上仁三郎が就任した。

新村名選定の理由は、「四か村を合せるものなれば参互折衷の村名を付すべきなれども、当該地方は往昔三芳野の里と唱えし縁故あり以て三芳村と命名」とある。「往昔三芳野の里」とは、平安時代の歌物

語『伊勢物語』第十段に出てくる「入間の郡みよしの里」にちなんだもので、川越地方一帯の広範の地は、「三芳野の里」と称されていた。では、なぜ三芳野とはならなかったのか。町村合併の準備が進む明治21年、新村名として3か所が「三芳野」を人間高麗郡役所に申請した。そこで郡役所では、1番目の申請村を「三芳野村」(現坂戸市)、2番目を「三芳野村」(現川越市)、3番目を「三芳」とすることで解決したという(「三芳野村郷土誌稿」)。その後、130年経った現在においても市町村名として残っているのは、三芳だけとなった。激動の時代に三芳を築いてきた先人に思いを馳せ、130年の歴史を未来へ繋ぐべく、幕末から明治の歴史を探訪した「三芳誕生130年」を終了する。



↑ 合併直後の三芳村絵図